

令和5年2月28日

小山市議会議長

福田 洋一 様

議員氏名

大木英憲



令和4年度政務活動費収支報告について

小山市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定に基づき、  
令和4年度政務活動費収支報告書を提出します。

令和4年度政務活動費収支報告書

令和5年2月28日

議員氏名 大木英憲

1 収入

(単位：円)

項目	金額	備考
政務活動費	800,000	
利息	4	
合計	800,004	

2 支出

(単位：円)

項目	金額	備考
研究研修費		
調査活動費		
資料作成費		
資料購入費		
広報費	593,934	議会活動広報費等
広聴費		
人件費		
事務費		
その他の経費		
合計	593,934	

3 残余の額 206,070 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

## 政務活動費項目別支出明細（令和4年度）

議員氏名（大木英憲）

（単位：円）

支出項目		広 報 費			
NO.	支出年月日	内容	部数	支出額	備考
1	2022.09.05	議会活動広報費	40,000	198,000	396,000 1/2 計上
2	2022.09.30	広報費折込代	40,000	80,217	160,435 1/2 計上
3	2022.10.20	ホームページ管理料 (令和4年4月～令和4年12月)		37,500	75,000 1/2計上
4	2022.12.09	議会活動広報費	40,000	198,000	396,000 1/2 計上
5	2022.12.28	広報費折込代	40,000	80,217	160,435 1/2 計上
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
合 計 額				593,934	

(議員名 大木英憲)

政務活動費領収書等添付用紙

支出年月日	2022.09.05			
支出項目	<input type="checkbox"/> 研究研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 調査活動費 <input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務費
摘要(品名)	支払額(円)	按分率(○分の1)	充当額(円) ※年額按分の場合は記入しない	
議会活動広報費	396,000	2分の1	198,000	
合計	396,000		198,000	

領収書等添付欄(支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます)

領 収 証 大木英憲 様 No. \_\_\_\_\_

金額 ¥ 396,000 -

内 訳  
 現金 \_\_\_\_\_  
 小切手 / \_\_\_\_\_  
 手形 / \_\_\_\_\_  
 消費税額等(%) \_\_\_\_\_  
 消費税額等(%) \_\_\_\_\_

但 議会活動費の報告書(総括) @ 9 x 40,000円

2022年 9月 5日 上記正に領収いたしました

株式会社 グローノ  
 栃木市箱森町41番32号  
 TEL: 0282-21-8269



登録番号 \_\_\_\_\_

GR1819

補 足 事 項 ※年額を按分する場合は、各費目の1枚目に計算式をご記入ください。↓

- ※まとめて貼付する場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- ※用紙裏面には何も貼付しないでください。
- ※領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降に添付してください。
- ※A4サイズやハガキの領収書、広報誌の原本などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。
- ※マーカーを引く際は、薄めの色(黄色等)を使用してください。



令和3年第3回 定例会個人質問 質疑内容



1. 新型コロナウイルス感染症における対応について

(1) 市民向けの情報発信について

①市内の状況把握について

感染症法の枠組みの中での対応となるため、情報収集に苦慮されていることは理解できるが、医療提供体制の現状、患者数や重症者の詳細など、市民に伝達される情報が乏し過ぎる。待ちの姿勢でなく、市としても積極的に情報の収集に努め開示してほしいと要望した。

②小山市独自の生活支援について

小山市独自の支援策はあるのかとの質問に対し、現状市独自の支援策はなく、国による

I 子育て世帯への生活支援特別給付金 II 生活困窮者自立支援制度

III 住居確保給付金(家賃)等の支援を行っているとの回答

市民が何を必要としているのか肌感覚で理解するため、アンケートなどを行い、想いに寄り添った下支えを行うよう要望した。

③小山市独自の産業支援について

緊急事態宣言の発令により、業種を問わず様々な事業者がひっ迫している中で、小山市独自の産業別の支援策があるのかとの質問に対し、

I 中小企業等一時支援金 II プレミアム共通商品券発行 III 雇用調整助成金

IV 中小企業販路開拓助成金 V 伝統産業支援 等を行っているとの回答

また、ヒアリング等を通じた各種事業者からの意見や要望を、支援策などの政策に反映させる取り組みを行っているかとの再質問に対し、各種団体からの意見は重要であると認識しており、それらを踏まえて支援内容を検討していると回答

④コロナ禍における情報発信について

医療ひっ迫状況や各種支援策について、市民に対しSNS等を始め様々なツールを用いて周知を行っているが、充分でないと感じており、市民には届いていない。これらの情報の発信について、どのように強化しようと考えているかとの質問に対し、見やすく分かりやすい公式ホームページ作りに取り組んでいるが、「時に見づらい、必要な情報が無い」等の指摘を受けることがある。これらの改善及び、他のSNS等を効果的に活用し、フレッシュな情報の発信強化に努めると回答  
具合が悪い人や、生活困窮者には現状の配信方法では情報は届かない。情報の発信は相手に届いてこそであり、誰にでも、どんな時にでも明確に伝達できるツールを確立するよう強く要望した。

(2) 窓口対応の強化について

①相談窓口の対応について

コロナ対応において、ワクチン接種や支援金の対応等、相談の内容により問い合わせの窓口が異なっている。各部局等でこれらの情報の共有化が随時なされているのかとの質問に対し、多岐にわたる相談においては、数多くの本部会議を開催、全庁において共有化し、連携伝達を行うとともに、たらい回しにならないよう取り組んでいるとの回答

さらに、多岐にわたる相談だからこそ、ワンストップの緊急総合窓口の設置が必要なのではとの再質問に対し、

人員等の問題もあり現状で対応との回答

市民が困った時に頼るのは市役所であり、問題の解消を図るためには総合窓口の設置が不可欠であると考えている。今後も長期化が予想される状況において、ワンストップの緊急総合窓口の設置を強く要望した。



②ガイドブックの作成について

新型コロナにおける現状や伴う対策については、医療から支援まで多岐にわたっており分かりづらいとの声を市民から聞いている。理解を進めるため市独自でガイドブックを作成し、配布ができないかとの質問に対し、コロナ対策が時間とともに変わってきていることから、より更新が可能な公式ホームページを活用し周知を行っている。また一方で、紙媒体での周知の声も多いことから緊急連絡先等の必要な情報をまとめ、保存版として作成、配布を行うとの回答  
配布については、市民はもちろんのこと企業への配布も要望した。

○最後に(要望) コロナ禍における未曾有の危機の中、市民の生活を救うのは市役所であると強く感じている。市長の強いリーダーシップのもと、政策を推し進めるよう強く要望した。



令和4年度 予算要望



地域の皆さまから、数多くの要望をいただいている以下の項目において、浅野市長に要望書を提出しました。

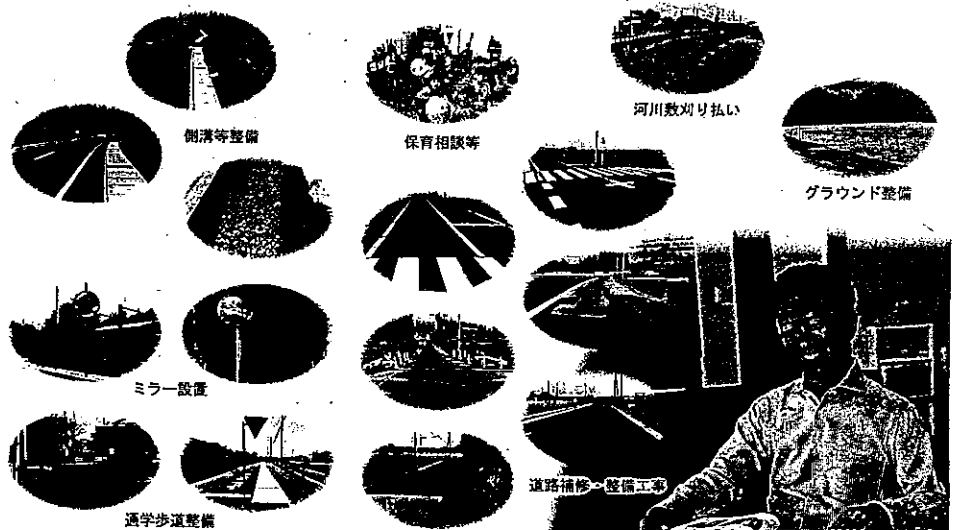
- ①地域のインフラ整備(道路拡張工事・市水道工事等)
- ②子どもたちの通学路の安全確保(グリーンベルト設置等)
- ③農村整備(農道整備等)
- ④公園の新たな利活用としてのキャンプ場の整備

以上が今年度当初予算に対する要望になります。

皆さまの想いを“かたち”に!!

<以下はかたちになった一例です。>

平成23年4月の初当選から11年にわたり、皆さまからの様々な声に耳を傾け、関係部署のご協力を仰ぎながら、数百を超えるご要望にお応えしてまいりました。声をかたちにしていくことは、大変時間のかかることですが、皆さまの笑顔のため、これからも歩み続けてまいります。



大木ひでのり

(議員名 大木英憲)

## 政務活動費領収書等添付用紙

支出年月日	2022.09.30		
支出項目	<input type="checkbox"/> 研究研修費	<input type="checkbox"/> 調査活動費	<input type="checkbox"/> 資料作成費
	<input checked="" type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 人件費
	<input type="checkbox"/> 資料購入費	<input type="checkbox"/> 事務費	
摘要(品名)	支払額(円)	按分率(○分の1)	充当額(円) ※年額按分の場合は記入しない
議会活動広報費	160,435	2分の1	80,217
合計	160,435		80,217
領収書等添付欄(支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます)			

## 領 収 証 B No. 04677

大木英憲 様

2022年9月30日

金額 ¥160435

左記の金額正に領収致しました(消費税込)

但し 9/5 払込代

(社印、受取人印の無いもの及び金額の訂正したものは無効です)



株式会社 振木オリコミ 世帯  
 本社 栃木県宇都宮市平井1-3-7  
 TEL 028-669-4111  
 両毛(営) 群馬県太田市東新町2-28-11  
 TEL 0276-23-7210



補 足 事 項 ※年額を按分する場合は、各費目の1枚目に計算式をご記入ください。↓

※まとめて貼付する場合、領収書等が重ならないようにしてください。

※用紙裏面には何も貼付しないでください。

※領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降に添付してください。

※A4サイズやハガキの領収書、広報誌の原本などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

※マーカーを引く際は、薄めの色(黄色等)を使用してください。

(議員名 大木英憲)

## 政務活動費領収書等添付用紙

支出年月日	2022.10.20		
支出項目	<input type="checkbox"/> 研究研修費	<input type="checkbox"/> 調査活動費	<input type="checkbox"/> 資料作成費
	<input checked="" type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 人件費
			<input type="checkbox"/> 資料購入費
			<input type="checkbox"/> 事務費
摘要(品名)	支払額(円)	按分率(○分の1)	充当額(円) ※年額按分の場合は 記入しない
ホームページ管理料	75,000	2分の1	37,500
合計	75,000		37,500

領収書等添付欄(支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます)

領 収 証

大木英憲様

No. \_\_\_\_\_

金額

¥75,000-

内 訳

現金

小切手 /

手形 /

消費税額等(%)

消費税額等(%)

但ホームページ管理料として(令和4年4月~  
令和4年12月)  
2022年10月20日 上記正に領収いたしました

株式会社 グローバル

栃木市箱森町41番32号

TEL: 0282-21-8260

登録番号 \_\_\_\_\_

収入印紙

GR1619

補 足 事 項 ※年額を按分する場合は、各費目の1枚目に計算式をご記入ください。↓

※まとめて貼付する場合、領収書等が重ならないようにしてください。

※用紙裏面には何も貼付しないでください。

※領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降に添付してください。

※A4サイズやハガキの領収書、広報誌の原本などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

※マーカーを引く際は、薄めの色(黄色等)を使用してください。



(議員名 大木英憲)

政務活動費領収書等添付用紙

支出年月日	2022.12.09			
支出項目	<input type="checkbox"/> 研究研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 調査活動費 <input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務費
摘要(品名)	支払額(円)	按分率(○分の1)	充当額(円) ※年額按分の場合は記入しない	
議会活動広報費	396,000	2分の1	198,000	
合計	396,000		198,000	

領収書等添付欄(支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます)

領 収 証      大木英憲      様      No. \_\_\_\_\_

金額      ¥ 396,000 -

内 訳      但 議会活動費の取組(税別@9×49,000円)

現 金      2022年12月9日 上記正に領収いたしました

小 切 手      /

手 形      /

消費税額等(%)      \_\_\_\_\_

消費税額等(%)      \_\_\_\_\_

株式会社 グローバル  
 栃木市箱森町41番32号  
 TEL: 0282-21-8260

登録番号 \_\_\_\_\_

GR1619

補 足 事 項      ※年額を按分する場合は、各費目の1枚目に計算式をご記入ください。↓

- ※まとめて貼付する場合、領収書等が重ならないようにしてください。
- ※用紙裏面には何も貼付しないでください。
- ※領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降に添付してください。
- ※A4サイズやハガキの領収書、広報誌の原本などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。
- ※マーカーを引く際は、薄めの色(黄色等)を使用してください。

# 大木ひでのり 小山市議会議員 議会活動報告

小山市東黒田 216-2 TEL.0285-45-1137 FAX.0285-45-5767

皆さまに寄り添いつつまでも...

日頃のご支援に深く感謝と御礼を申し上げます。  
“この街を変えたい”との強い想いを抱き、市議会に挑戦し、早いもので11年の月日が経過いたしました。しかしながら、その歩みは決して平坦ではありませんでした。

そんな苦しく困難な時期を乗り越え、今に至ることができましたのも、身近にお支えいただいた市民の皆さまのお力添えがあったことと心より感謝を申し上げます。

議員である私は、行政のチェック機能という役割だけでなく、今はもちろん、この街の未来と、その時代を生きる市民の皆さまに対して、大いなる責任があると思っております。

従いまして、新型コロナウイルス感染症の発生と始末とした様々な難局に対し、市民の皆さまの苦痛に素早く寄り添い、手当をさせていただき、私の本来の役割であります。

私“大木ひでのり”は、これからも理想を貫き、皆さまの想いに寄り添い、少くも取り戻していただくよう精進してまいります。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

大木ひでのり

## 農業体験

5月に農業体験(田植え)を行いました。9月の秋晴れ作業を行いました。子どもたちは、見よう見まねで上手に刈り取り作業を行いました。お力をいただきました皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございます。

### プロフィール

- 昭和56年4月 小山市東黒田生まれ
- 平成6年3月 間々田東小学校卒
- 平成9年3月 間々田中学校卒
- 平成12年3月 栃木県立小山南高校卒
- 平成23年4月 小山市議会議員に30才で初当選
- 平成27年4月 小山市議会議員2期目に当選
- 平成31年4月 小山市議会議員3期目に当選

### 主な役職

- ◆小山青年会議所 元理事長
- ◆おもいがわ商工会青年部 部長
- ◆全国若手市議会議員の会
- ◆栃木県幼稚園PTA連合会 元会長
- ◆小山幼稚園PTA連合会 元会長
- ◆小山消防団第8分団2部 団員
- ◆小山FCライオンズクラブ



大木ひでのり コミュニティ

## 令和4年度一般会計補正予算を可決しました。

今回の補正予算は、国の電力・ガス・食料品等価格高騰への対応に呼応し、  
①住民税非課税世帯等に緊急支援給付金を給付 ②省エネの促進 ③水道料金の減免による生活者支援  
④価格高騰の影響を受けている社会福祉・児童福祉事業者、医療機関、土地改良区、中小企業者、学校給食への支援 ⑤新型コロナウイルス感染症対策として同時流行を防ぐためのインフルエンザ予防接種費助成 以上を行うための補正です。  
※詳しくは市のホームページをご確認ください。

①住民税非課税世帯等に緊急支援給付金を給付  
補正額：7億8,050万円



令和4年度の住民税が非課税である世帯に対し、1世帯につき5万円の給付金を支給します。



②省エネ家電買替え設置支援  
補正額：3,000万円

家庭での電気料金負担の軽減及び、地球温暖化ガスの削減を図るため、臨時交付金を活用し、古い家電から省エネルギー家電に買替えた市民に補助金を交付します。

③水道料金の減免による生活者支援  
補正額：1億3,900万円

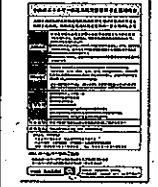


諸物価高騰により、家計に大きな影響を受けている市民への生活支援として水道基本料金の負担を軽減します。

④価格高騰の影響を受けている企業等への支援  
補正額：4億6,235万円

### 【内訳】

社会福祉・児童福祉事業者	137,962千円
医療機関	77,325千円
土地改良区	20,000千円
中小企業者	200,084千円*
学校給食の保護者負担支援	26,979千円



\*中小企業者に対するエネルギー価格高騰対策事業  
エネルギー価格の高騰により、経営に影響を受けている事業者の負担軽減のため、事業用の燃料及び電気の購入に要する経費の一部を補助します。

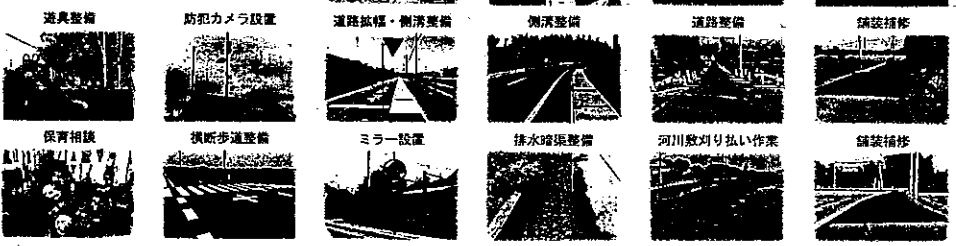
## 小山市の予算状況

今回の増額補正額『14億7,615万円』を加えると、小山市の一般会計予算額は『696億9,992万円』となります。補正の財源は、国庫県支出金及び繰越金によるものです。

## 皆さまの声をかたどる

皆さまの想いが少しずつではありますが“かたち”になりました。これからも精一杯走り続けてまいります。

要望件数	684件
完了件数	547件
継続中	137件



責任世代 大木ひでのり ohki-hidenori.com



hidenori\_ohki



今回は、将来を見据え強い小山市を作っていく道筋となるよう

- ①強い小山市を作っていくための柱となる総合政策について
- ②地域間競争を勝ち抜くための人を呼び込む施策について

近い将来ふると小山市がどう移り変わり、強い小山市へと成長を遂げていくのか今が大変重要であり、その観点に立って質問した。



左のQRコードをかざしていただくと質問の動画にアクセスできます。是非ご覧下さい。

## 1. 総合施策について

### (1) 中核都市形成について

強い自治体として中核市を目指せ！

#### 【質問】

私は、少子高齢化、人口減少時代の中、将来において持続可能な自治体として生き残るため、強固な基盤を有する県南の雄都として中核市を目指すべきと訴えてきた。

現状で、市に権限を有していない保育所や老人ホームの設置許可、さらには、開発行為への許可など、中核市では市の権限において地域の実情に合った施策が展開できるようになり、人や企業を呼び込む上でとても重要である。

そこで小山市の中核都市形成についての考えを伺った。

#### 【浅野市長】

人口の減少は、経済活動の縮小、税収の減少、コミュニティ機能の低下など、市民生活への影響が懸念される。

小山市では近隣市町との小山地区定住自立圏の他、対応可能な様々な枠組みの中で連携を推進し、行政区域の垣根を超えた広域的かつ緩やかな連携関係を積み重ね、持続可能な圏域形成を目指している。

#### 【要望】

少子超高齢化、人口減少という不確実な時代において、様々な局面に対峙するには、強い小山市でなければならない。そのためにも中核市を目指し、小山市が将来の大きな未来像を描き県南地域の舵取りをしていくことが不可欠であり、そうあるべきと要望した。

### (2) 定住自立圏の成果と課題について

市長がさらなるリーダーシップを！

#### 【質問】

平成28年に小山市を中心市として下野市、野木町、結城市と定住自立圏を締結し、計画期間を5年間とする第2期共生ビジョンを策定、公共施設、医療、その他都市機能の充実など、広域的な連携の取り組みを進めてきた。

圏域の形成から6年を迎え、定住自立圏共生ビジョンに掲げた具体的な成果と課題について伺った。

### (3) 近隣市町との連携について

両市の強みを活かせ！

#### 【質問】

小山市では定住自立圏などを結んでいない自治体とも連携を進めてきたが、連携が盛んな隣接する栃木市との連携事業の具体的な内容と成果について伺った。

### (4) 田園環境都市ビジョンについて

持続可能なまちづくりのために法的緩和を！

#### 【質問】

現況では市街化調整区域への移住・定住は法的に難しいことは理解しているが、田園環境都市ビジョンによって、農村部に、移住・定住がしやすくなるような緩和策を考えられないか伺った。

#### 【吉澤総合政策部長】

市街化調整区域への移住・定住は、現状では法的に困難だが、調査結果により、共有された皆様の想いを、農村部に関する施策や事業に反映させることは可能であり、住みたい、住み続けたいと思える持続可能な農村部のまちづくりも実現できると考えている。

#### 【要望】

ビジョンとの整合性を図り、農村部への移住・定住促進のためにも、条例等の見直しも含め、まちづくりをさらに進めることを要望した。

## 2. 人を呼び込む施策について

### (1) 現在の小山市の取り組みについて

勝ち抜くために人を呼び込め！

#### 【質問】

小山市は北関東の拠点都市として地理的条件や、交通の利便性から発展を遂げてきたが、今後は、いかに人を呼び込むかが大切になる。小山市の魅力を高め、発展させ、地域間競争を勝ち抜くための取り組みについて伺った。

### (2) レジャー施設の誘致について

未来に誇れる小山のシンボル誘致を！

#### 【質問】

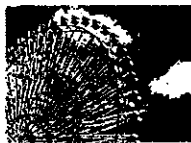
小山市はこれまで人と企業を呼び込む政策を進め、計画的に工業団地を造成し、160社もの企業誘致をしてきたが、人を呼び込むという観点から見れば企業誘致だけではない。そこで今まで小山市が取り組んでこなかった市内、市外から多くの人を呼び込めるレジャー施設等の誘致活動を、優遇措置等を設けた上で民間への働きかけができないか伺った。

#### 【吉澤総合政策部長】

レジャー施設の誘致によって、税収の確保や雇用の拡大等、数多くの効果が期待される一方、交通渋滞などの生活環境の悪化が懸念される。引き続き、各施策事業に着実に取り組み、人と企業に選ばれるまちづくりを進めていく。

#### 【要望】

効果を理解しているのであれば、前向きに検討して欲しい。近隣市町では人を呼び込み、活性化のための事業の展開をしている。本市においても地域間競争を勝ち抜くため、未来に誇れる小山のシンボルとしてのレジャー施設などの誘致を要望した。



### (3) 小山総合公園の利用拡充について

ここがポイント！

総合公園内にキャンプ場の整備を！

#### 【質問】

小山総合公園を小山市の魅力発信の一つの拠点として、さらなる利用拡充や交流人口の増加を見込むためにも、市民から要望が多いプールやキャンプ場を併設した、小山総合公園一体の再整備ができないか伺った。



#### 【須郷都市整備部長】

利用拡充や交流人口の増加を見込むためには、既存施設の更新や多目的な公園施設の整備が必要となる。キャンプ場等の整備は、来年度以降予定の小山総合公園の再整備基本設計の中でスペースの確保について検討を行う。

#### 【再質問】

小山総合公園のさらなる利用拡充の為に、公園内の施設やインフラの活用が必須であるが、多くの出店者が集う「おやまいち」では、重要なインフラであるべき電気利用が認められていない。

そこで、総合公園の利用拡充における、予算負担のない取り組みとして、利用料金を設定した上で電気利用を許可して頂き、さらなる事業活用の誘発を試みてはどうかと再質問した。



#### 【須郷都市整備部長】

電気使用については、現行の電気設備で対応が可能かどうか事業者と協議を行う。

#### 【要望】

前向きかつ早急な検討を要望した。



### (4) プレミアム商品券について

販売単価を減額して買いやすく、広く市民に！

#### 【質問】

小山市では購入金額が1万円からであり、昨今の物価上昇を考慮すれば、1万円からでしか購入できない商品券ではなく、例えば2千円や5千円からでも購入できる商品券に改善をした方が、より多くの市民の方が買いやすくなると感じている。そこで、来年度以降商品券の販売価格を減額できないか伺った。

#### 【目徳産業観光部長】

販売価格の減額は、メリット、デメリットが想定されるが、購入者に対して選択の幅が増えることから、今年度の動向やご意見を踏まえ協議検討し、来年度以降の事業に繋げていく。

#### 【要望】

来年度以降は、他市町の取り組みも参考にし、多くの市民が購入しやすい金額を設定することを要望した。

以上が質疑の内容になります。お読みいただきまして誠にありがとうございます。



(議員名 大木英憲)

## 政務活動費領収書等添付用紙

支出年月日	2022.12.28			
支出項目	<input type="checkbox"/> 研究研修費 <input checked="" type="checkbox"/> 広報費	<input type="checkbox"/> 調査活動費 <input type="checkbox"/> 広聴費	<input type="checkbox"/> 資料作成費 <input type="checkbox"/> 人件費	<input type="checkbox"/> 資料購入費 <input type="checkbox"/> 事務費
摘要(品名)	支払額(円)	按分率(○分の1)	充当額(円) ※年額按分の場合は記入しない	
議会活動広報費	160,435	2分の1	80,217	
合計	160,435		80,217	
領収書等添付欄(支出項目が同一の領収書等は、まとめて貼付できます)				

## 領 収 証 BNo 04907

大木英憲

様

2022年12月28日

金額 ¥160435

左記の金額正に領収致しました(消費税込)

但し 12/14 折込代

(社印、受取人印の無いもの及び金額の訂正したものは無効です)



株式会社 振木オリコミ

本社 栃木県宇都宮市平出町378番4号  
TEL 028-660-4112

両毛(営) 群馬県太田市東新町328-11号  
TEL 0276-23-7210

受取人



補 足 事 項 ※年額を按分する場合は、各費目の1枚目に計算式をご記入ください。↓

※まとめて貼付する場合、領収書等が重ならないようにしてください。

※用紙裏面には何も貼付しないでください。

※領収書等が枠内に納まらない場合は、2枚目以降に添付してください。

※A4サイズやハガキの領収書、広報誌の原本などは糊付けせずにクリップで留めて提出してください。

※マーカーを引く際は、薄めの色(黄色等)を使用してください。